



- | | | | |
|------------|---------------|------|---------------|
| つばさ薬局 多賀城店 | ☎022(366)8001 | 吉川店 | ☎0229(22)7010 |
| 長町店 | ☎022(308)5711 | 泉店 | ☎022(772)1571 |
| 船岡店 | ☎0224(58)1065 | 若林店 | ☎022(289)8777 |
| 中新田店 | ☎0229(64)1888 | 松陽台店 | ☎022(361)9444 |
| 松島店 | ☎022(353)2990 | 上杉店 | ☎022(212)1126 |
| 玉川店 | ☎022(365)2838 | | |

寒さの中にも、春のおとずれが感じられるようになってきました。

今回はワクチンで防げる病気についてのお話です。



ワクチンで防げる病気は、子どもたちの健康と命を守ります。

子どもたちがかかりやすいワクチンで防げる病気には、次のようなものがあります。



ワクチンで防げる主な病気

- | | | |
|------------------|--------------|-----------|
| ● B型肝炎 | ● ポリオ | ● インフルエンザ |
| ● ロタウイルス感染症（胃腸炎） | ● 結核 | ● A型肝炎 |
| ● ヒブ感染症 | ● 麻しん（はしか） | ● 髄膜炎菌感染症 |
| ● 肺炎球菌感染症 | ● 風しん | ● 黄熱病 |
| ● ジフテリア | ● おたふくかぜ | ● 狂犬病 |
| ● 破傷風（はしょうふう） | ● 水痘（みずぼうそう） | |
| ● 百日せき | ● 日本脳炎 | |

※日本で子どもがワクチンを接種できる病気

お母さんが出産の時に直接赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力(免疫)は、百日せきでは生後3ヵ月までに、麻しん(はしか)では生後12ヵ月までにほとんど自然に失われます。

そのため、この時期を過ぎると、赤ちゃん自身の免疫を作って病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

子どもは発育と共に外出の機会が多くなり、感染症にかかる可能性も多くなります。予防接種をお子さんの健康にお役立てください。

推奨されるワクチン接種スケジュール

●数字は何回目かを表す

2ヵ月	インフルエンザ菌b型(ヒブ)①、肺炎球菌①、B型肝炎①
3ヵ月	ヒブ②、肺炎球菌②、B型肝炎②、四種混合(DPT-IPV)①、BCG①(生後6ヵ月までに)
4ヵ月	ヒブ③、肺炎球菌③、四種混合(DPT-IPV)②
5～11ヵ月	B型肝炎③、四種混合(DPT-IPV)③
6ヵ月以降	インフルエンザ(年1度。12歳までは2回ずつ)
12～15ヵ月	ヒブ④(19ヵ月までに)、肺炎球菌④、四種混合(DPT-IPV)④(19ヵ月までに)、MR(麻疹、風疹)①(19ヵ月までに)、水痘(水ぼうそう)①、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)①
3歳	日本脳炎①～②
4歳	日本脳炎③
5～6歳	MR②、水痘②、流行性耳下腺炎②
9歳	日本脳炎④
10歳以降	乳児期に接種していない人のB型肝炎①～③、ジフテリア・破傷風の追加接種(11～12歳)、MR③～④(2012年度まで中1と高3で追加接種)



ワクチンで防げる病気の被害は減らせる？

海外では麻疹風疹おたふくかぜ(MMR)ワクチンの2回接種が小児の定期接種に導入されている国が多く、ワクチンの効果によりおたふくかぜの患者数は激減しており、先進国でおたふくかぜワクチンが定期接種化されていない国は日本だけになっています。一方、おたふくかぜワクチン接種後に無菌性髄膜炎を発症することがあります。予後良好とは言え、頻度が国産の単味ワクチンで0.03～0.06%と報告されており、接種前には十分な説明と被接種者の理解が必要です。小児のみならず、免疫のない成人をおたふくかぜの重症化あるいは

は後遺症から守り、おたふくかぜワクチンを受けることができない病気の人や妊婦をおたふくかぜから守るためには、おたふくかぜワクチンの定期接種化によりまず接種率を上げ、おたふくかぜの患者数を減少させることが必要です。



欧米などの諸外国に比べて接種率が低い日本

2001年に麻疹が流行した時は約30万人がかかり、80人くらいの死亡者が出たとも推定されています。どうしてこんなに患者が多いのかというと、日本ではワクチンの接種率が欧米などの国に比べて低いのです。それは、予防接種の必要性和安全性が国民にきちんと伝えられていないために、安全性などワクチンに対する誤解が多いからだと思います。また、無料化しているワクチンの種類が少ないことも関係します。世界では、麻疹などの撲滅を目指して、ワクチンの接種を積極的に行っています。WHO（世界保健機関）でも、「拡大予防接種事業」を行って、世界各国でワクチンの接種をすすめています。



ワクチンの無料接種

他の国では接種できて、日本では無料で接種できないワクチンが多くあります。かかる人がたいへん多いおたふくかぜ、ロタウイルスのワクチンが誰でも使えないのは非常に問題です。いくら良いワクチンがあっても皆が受けてくれないことにはワクチンで防げる病気の被害が続いてしまいます。ヒブワクチンは2008年12月から、小児肺炎球菌ワクチンは2010年2月から使用できるようになりましたが、定期接種になったのは2013年からです。B型肝炎は2016年からです。ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、B型肝炎ワクチンと同様に、ロタウイルスワクチンは、WHO（世界保健機関）がどんなに貧しい国でも国の定期接種に入れて、無料で接種して国民を守るように指示しているもので

す。またWHOでは、おたふくかぜと水痘（みずぼうそう）ワクチンも先進国では無料化することが望ましいと勧告しています。



もし副反応が起こったときは

予防接種の後に、熱が出たり、機嫌が悪くなったり、はれたり、しこりがでたりすることがありますが、そのほとんどが2～3日で自然に消えてしまいます。予防接種後、副反応がでたと思ったときは、まずは接種した医師にご相談ください。また、定期接種による副反応が起きた場合、被害の程度にもよりますが、救済制度を受けることができます。



【参考文献】NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会について

http://www.know-vpd.jp/vc/vc_wrl02.htm

日本産業ワクチン協会HP：<http://www.wakutin.or.jp/data/mother/vaccination6.html>

つばさ薬局は、開局以来25年にわたり地域に根ざした薬局として、地域の方とともに命と暮らしを守る活動を行っていますが、有限会社みやぎ保健企画という営利法人の形態でした。

そこで、私たちは、営利を求めるのではなく、地域の方との協同で、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指し、3月から「非営利型一般社団法人みやぎ保健企画」に移行することになりました。

つばさ薬局は、今後も地域の健康づくりに貢献していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

みやぎ保健企画代表取締役 金田 早苗

4月の栄養相談予定（各店10：00～12：00開催です）

- ・ 3日（水）古川店
- ・ 8日（月）船岡店
- ・ 11日（木）泉店
- ・ 16日（火）松陽台店
- ・ 19日（金）多賀城店
- ・ 22日（月）若林店
- ・ 24日（水）長町店
- ・ 26日（金）上杉店
- ・ 30日（火）中新田店